

海上の森自然観察会

テーマ 初夏の里山で自然を感じよう

日時 2012年5月19日(土) 10:00~14:00 天気(快晴)

参加者 一般14名 指導員12名

5月の定例会観察会は愛知県自然観察指導員連絡協議会の「あいちの自然観察会」の尾張支部担当の観察会として開催しました。いつもは常連のメンバーが多い観察会ですが、今回は協議会ニュースや中日新聞での広報の効果があって、朝、集合場所に集まった参加者は26名(内訳:尾張支部8人、名古屋支部3人、その他15人)でした。この中には新聞の案内を見て参加したという3組5名や企業関係者3名もありました。ただ、海上の森ではいろいろな観察会が開かれているため、集合場所を間違え、愛知環状鉄道山ノ口駅で待っていた人、海上の森センターに行った人などもいて、一般参加を呼びかける際には集合場所の周知徹底を考える必要がありそうです。

さて、この日のテーマは「初夏の里山で自然を感じよう」ということで、野山に咲く花などを見ながら物見山に登るコースをとりました。

駐車場を出て歩き出したらすぐ、カツバナウツギ、ツクバナウツギ、シライトソウ、タンザワウマノスズクサ(オオバウマノスズクサの変種)、ミヤマナルコユリ、ウツギ、ヤマボウシ、エゴノキ、タニウツギ、ヤマハタザオ、ホオノキなどなど花がいっぱい咲いていてなかなか前に進みません。この日の目玉はハクウンボクとジャケツイバラの花です。ハクウンボクは今年の花のつき方は多くはありませんが、ちょうど咲き始めたところを近くで見ることができました。もう一つのジャケツイバラは、物見山への登りの途中、遠くにほぼ満開の黄色の花を見ることができ、物見山で昼食をとった後の下りでも近くで花を観察できました。

また、動物ではアサヒナカワトンボ、オオカワトンボ、ヤマサナエ、モンキアゲハなどの昆虫が見られ、野鳥ではサンコウチョウ、キビタキ、ウグイスなどの声を楽しむことができました。鳥の鳴き声を聞いたとき、それを文字にすることも体験してみました。物見山への途中、道の脇にオオルリの巣があり、数日前に4個あった卵が取られ、親鳥が営巣を放棄したという話を聞きました。野鳥の卵をとって孵化させ飼育することは法律で禁止されているのに、心無い人の行動が悔やまれます。

今回は天候にも恵まれ、参加者もいつもより多く、いろいろなものが観察でき有意義な観察会だったと思います。

(報告: 齋竹善行)

<その他観察できたもの> 植物:(花) サギゴケ、クサノオウ、マユミ、カマツカ、ヤブヘビイチゴ、ニョイスミレ、ニガナ、ニホンタンポポ、モチツツジ、ヤブジラミ、ミカワチャルメルソウ、ヤブデマリ、キリ、ハリエンジュ、(実) ヤマウグイスカグラ、ハナイカダ

動物: ツバメ、キジバト、ヒヨドリ、コゲラ、シジュウカラ、ハシブトガラス、コジュケイ(声)、オオルリ(声)、シオヤトンボ、シオカラトンボ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、ヒメウラナミジャノメ、コチャバネセセリ、ダイミョウセセリ、ミカワオサムシ



(観察会のようす)



(ハクウンボク)



(ジャケツイバラ)